

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○自動運転等の新技術導入に向けた取組の促進
主な取組	自動運転移動サービスの導入促進		対応する成果指標	電動車 (EV・PHV) 普及率
施策の方向	<p>・人々のライフスタイルの変化に対応するため、自動運転技術、MaaS、ドローン等の新技術の導入を促進するとともに、新技術等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境の構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
自動運転移動サービスの導入に向け、市町村との意見交換会の開催や、市町村向けの情報発信を行い、導入を促進する。	県,市町村等	自動運転移動サービス導入に向けた市町村向け意見交換会の開催や情報発信		
		市町村向け意見交換会の開催数及び情報発信回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課	【 098-866-2384 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
自動運転移動サービスの導入に向けた市町村向けの意見交換会を3回、試乗会を1回、情報提供を2回行った。				自動運転移動サービス導入に向けた市町村向けの意見交換会の開催や情報発信を行う。		

活動指標名	市町村向け意見交換会の開催数及び情報発信回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	6回	2回	100.0%	順調	自動運転移動サービスの導入に向けて、市町村との意見交換会や試乗会の開催、情報提供を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は意見交換会を3回、現場での自動運転サービスの試乗会を1回、情報提供を2回の計6回、活動指標の取組を実施しており、達成割合100%であることから順調であると判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換会の内容を、基本的な知識の習得から可能な内容とし、市町村が参加しやすい形式とした。 意見交換会では専門家を配置し、市町村の質問に対応出来る体制を確保した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和4年度の進捗状況は順調であるが、導入を行った市町村が無いことから、市町村に対し、引き続き取組への理解を深める必要がある。	⑧ その他	他の都道府県における同規模の自治体での事例や地域の課題解決につながった事例など、市町村内での機運醸成に繋がる情報提供を行う。
⑦ その他(改善余地の検証等)	市町村の担当者の変更などがあることから、継続して意見交換会や情報提供を行う必要がある。	⑧ その他	市町村の担当者変更などに影響がないよう、毎年度、意見交換会を開催し、国からの支援制度の情報なども継続的に提供する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○公・民・学連携によるまちづくりの促進
主な取組	公・民・学の連携による交通・まちづくりの取組促進		対応する成果指標	電動車 (EV・PHV) 普及率
施策の方向	・本県の地域実情に応じたスマートシティの形成を念頭に、SDGsやSociety5.0に対応する地域と交通のあり方の調査研究について、公・民・学が連携する体制を構築し、包括的・継続的に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証実験や先導的な取組等へ参画する。	県,市町村等	Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証事業や先導的な取組等への参画		
		参画する取組等の数(内訳)		
		1件	1件(継続1件)	1件(継続1件)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課 【 098-866-2384 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
地域振興・公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集や勉強会の実施。				地域振興・公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集や勉強会の実施。地域の課題解決に繋がる連携取組について、参画または参画への検討。		

活動指標名	参画する取組等の数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	0件	1件	0.0%	やや遅れ	令和4年度は、県有施設へのPPP・PFIの利活用に向けた情報収集や発信、勉強会等を開催し、参画への検討を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

初年度となった令和4年度は、県有施設へのPPP・PFIの利活用に向けた情報収集や発信、勉強会等を開催したが、案件への参画には至らなかったことから、やや遅れと判断した。本取組については、継続して取り組んでいく。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	県有施設へのPPP・PFIの利活用に向けた情報収集や発信、勉強会等の開催を行い公・民・学の連携への理解が深まるよう取り組んだ。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	地域が抱える様々な課題の解決のための交通・まちづくりへ向けて、どの取組へ参画すべきかの検討を行う必要があるが、先導的な取組のため事例が少ない。	⑧ その他	地域の課題抽出や、公・民・学の連携まで展開しそうな取組について広く情報を収集し、課題解決のための交通・まちづくりに有効な取組の検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○脱炭素社会に向けた多様なモビリティの利用促進
主な取組	パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進		対応する成果指標	電動車 (EV・PHV) 普及率
施策の方向	・人口が集中する本島中南部地域においては、公共交通利用や多様なモビリティを利用するライフスタイルへの転換に向けて、バス、モノレール、カーシェアリング、自転車利用、コミュニティバス、福祉交通等の移動抵抗の小さい交通手段の導入やパーク・アンド・ライドの利用の促進等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
パンフレットの配布等の周知活動により、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。	県	パンフレットの配布等の周知活動によるパーク・アンド・ライドの利用促進		
		パンフレット配布回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	モノレール利用促進事業費			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	16,167	1,217	主な財源	実施方法	当初予算額
				-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
指定管理者により利用促進のため、パンフレット配布を実施した。また、駐車場の精算機について、新500円硬貨に対応出来るよう改修を実施した。				引き続き指定管理者による駐車場管理を実施し、パンフレットの配布等の周知活動により、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。		

活動指標名	パンフレット配布回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	1回	1回	100.0%	順調	パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進のため、令和5年3月にパンフレットを70,000部作成し、浦添市・宜野湾市・西原町の周辺3市町でポスティングを実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度の目標であったパンフレット配布による周知活動1回について、令和5年3月にパンフレットを70,000部作成し、浦添市・宜野湾市・西原町の周辺3市町でポスティングを実施し、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図っており、進捗状況は順調である。また、このような宣伝広告等の効果もあり、令和4年度の駐車場入庫台数は153,440台、前年比約40.0%増となった。</p>	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<p>・パンフレット等の宣伝広告については、パーク・アンド・ライドシステムの仕組みや施設の役割を広く県民に紹介し、公共交通利用促進につながる宣伝広告を実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	<p>利用者の増加に伴い、さまざまな要望等が利用者から出ているため、それに対応していく。</p>	⑥ 変化に対応した取組の改善	<p>今後の利用者のさらなる増加に対応するため、キャッシュレス精算の導入やカーナビ等を利用した駐車場情報（満車空車情報）の提供を実施する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	②公共交通システムの戦略的再編
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールの輸送力増強
主な取組	沖縄都市モノレール輸送力増強事業		対応する成果指標	公共交通利用者数
施策の方向	・過度な自家用車利用から公共交通利用への転換を図るため、定時速達性に優れた幹線公共交通機関としてモノレールの輸送力の増強に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄都市モノレールの時間当たりの最大混雑率を120%未満に抑えるため、2両1編成の車両を3両1編成化し、輸送力の増強を図る。また、これと併せて車両を留置する新車両基地を整備する。	県,那覇市,浦添市,事業者	輸送力増強に向けた3両編成車両の整備(車両整備、新車両基地整備、既存駅舎の改築等)		
		3両編成車両運行開始数(累計)		
		—	2編成	2編成(4編成)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄都市モノレール輸送力増強事業			予算事業名	沖縄都市モノレール輸送力増強事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ハード)	その他	1,758,407	6,584,108	一括交付金 (ハード)	その他	6,863,430
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
3両編成車両製造、可動安全柵設置工事、新車両基地工事、既存車両基地工事を実施し、分岐器制作が完了した。				3両編成車両製造、可動安全柵設置工事、新車両基地工事を実施する。		

活動指標名	3両編成車両運行開始数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	-	-	0.0%	順調	令和5年度の3両編成車両運行開始に向け、3両編成車両製造、可動安全柵設置工事、新車両基地工事、既存車両基地工事、分岐橋改修工事、下部工工事、上部工制作等を実施中である。また、分岐器制作が完了している。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>3両編成車両運行開始の目標は、令和5年度開始となる。そのため、令和5年度の3両編成車両運行開始に向け、3両編成車両製造及び関連施設である新車両基地工事、既車両基地工事、既設駅の可動安全柵設置工事、上部工・下部工工事等を実施中である。なお、令和4年度末に3両編成車両2編成を搬入しており、令和5年度中に当該2編成を運行開始する見込みであり、進捗状況は概ね順調である。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3両編成車両運行開始を早期に実現するため、運行事業者が実施する既存駅の改修工事及び可動安全柵設置工事の工事スケジュールを管理した。 ・ 3両編成車両運行開始を早期に実現するため、運行開始に係る軌道法工事施工認可について、申請者（運行事業者）と事前協議を適宜行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	<p>工事スケジュール管理のため、毎月1回程度、運行事業者と調整を実施したが、工事遅延等の運行開始に係るリスク要因の把握が遅れることがあったため、より一層の運行事業者との連携が必要である。</p>	② 連携の強化・改善	<p>事業主体である運行事業者と運行開始に係るリスク要因の把握に勤め、適宜調整等を実施する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○世界水準の観光地に相応しい沿道景観の形成
主な取組	沖縄フラワークリエイション事業		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・主要道路及び観光地へのアクセス道路等については、適正な植栽管理、飾花を行い、世界水準の観光地にふさわしい沿道景観の形成や、周辺環境と調和のとれた沖縄らしい風景づくりに重点的に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
・観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上をする	県	観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上		
		草花等による緑化・重点管理路線数(内訳)		
		41路線	41路線(継続41路線)	41路線(継続41路線)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課	【 098-866-2665 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄フラワークリエイション事業			予算事業名	沖縄フラワークリエイション事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	370,993	624,489	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	608,274
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線 (80km) について、緑化 (草花等) ・重点管理を実施した。				観光地へアクセスする道路への緑化・重点管理を推進する。 計画値：41路線 (継続)		

活動指標名	草花等による緑化・重点管理路線数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	41路線	41路線	41路線	41路線	100.0%	順調	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線 (80km) について、緑化 (草花等) ・重点管理を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>計画41路線に対し、実績41路線となっており、順調に実施している。国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線(80km)について、緑化(草花等)・重点管理を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと温暖化防止に寄与できた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 定期的なパトロール等により植栽箇所環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように剪定や管理方法、育成点検、灌水手法について検証し、各土木事務所や造園業者と連携して品質確保と向上を図る。 道路ボランティア団体への支援・普及啓発により、住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。 限られた予算で効果的・効率的な植栽管理を実施するための実効性のあるしくみづくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 草花等の育成管理を年間通じて実施した。また、季節や植栽箇所の状況に応じ、草木や花木を選定し、植物が良好な状態を保持しているよう灌水などの対応をし、アレロパシー植物の植栽等を活用し、良好な沿道景観の向上へ寄与した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄観光のイメージアップのため、観光地までの主要アクセス道路について、年間を通して花と緑のある良好な道路空間を創出し、道路景観の向上と維持させる取り組みが求められている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<ul style="list-style-type: none"> 限られた予算で効果的・効率的な植栽管理を実施するための実効性のあるしくみづくりや道路ボランティア団体による住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○都市やグラウンド等の日陰づくり
主な取組	都市公園整備事業		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・都市やグラウンド等の日陰づくりを進め、紫外線による健康被害防止及び気候変動の進行に伴う熱中症被害防止を見据えたまちづくりの整備に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
緑化による温暖化防止対策として、環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所やレクリエーション活動の場の創出等、都市公園整備を行う。	国,県,市町村	都市公園の整備推進		
		都市公園の供用面積(整備面積)(累計)		
		12.2ha(1,565ha)	12.2ha(1,577.2ha)	12.2ha(1,589.4ha)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課	【 098-866-2035 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)																																																																																								
<table border="1"> <tr> <th>予算事業名</th> <td colspan="4">公園費 (社会資本交付金)</td> </tr> <tr> <th>主な財源</th> <th>実施方法</th> <th>R3年度 決算額</th> <th>R4年度 決算見込額</th> <td></td> </tr> <tr> <td>内閣府計上</td> <td>直接実施</td> <td>2,495,815</td> <td>1,237,610</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="5">令和4年度活動内容</th> </tr> <tr> <td colspan="5"> 県営都市公園事業において、用地取得や園路、運動施設等の整備を6公園で行った。 </td> </tr> <tr> <th>予算事業名</th> <td colspan="4">沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)</td> </tr> <tr> <th>主な財源</th> <th>実施方法</th> <th>R3年度 決算額</th> <th>R4年度 決算見込額</th> <td></td> </tr> <tr> <td>一括交付金 (ハード)</td> <td>その他</td> <td>439,064</td> <td>426,591</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="5">令和4年度活動内容</th> </tr> <tr> <td colspan="5"> 県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を16市町村に行った。 </td> </tr> </table>					予算事業名	公園費 (社会資本交付金)				主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		内閣府計上	直接実施	2,495,815	1,237,610		令和4年度活動内容					県営都市公園事業において、用地取得や園路、運動施設等の整備を6公園で行った。					予算事業名	沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)				主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		一括交付金 (ハード)	その他	439,064	426,591		令和4年度活動内容					県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を16市町村に行った。					<table border="1"> <tr> <th>予算事業名</th> <td colspan="2">公園費 (社会資本交付金)</td> </tr> <tr> <th colspan="3">R5年度</th> </tr> <tr> <th>主な財源</th> <th>実施方法</th> <th>当初予算額</th> </tr> <tr> <td>内閣府計上</td> <td>直接実施</td> <td>2,226,530</td> </tr> <tr> <th colspan="3">令和5年度活動計画</th> </tr> <tr> <td colspan="3"> 県営都市公園事業において、用地取得や園路、運動施設等の整備を行う。 </td> </tr> <tr> <th>予算事業名</th> <td colspan="2">沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)</td> </tr> <tr> <th colspan="3">R5年度</th> </tr> <tr> <th>主な財源</th> <th>実施方法</th> <th>当初予算額</th> </tr> <tr> <td>一括交付金 (ハード)</td> <td>その他</td> <td>690,505</td> </tr> <tr> <th colspan="3">令和5年度活動計画</th> </tr> <tr> <td colspan="3"> 県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を行う。 </td> </tr> </table>			予算事業名	公園費 (社会資本交付金)		R5年度			主な財源	実施方法	当初予算額	内閣府計上	直接実施	2,226,530	令和5年度活動計画			県営都市公園事業において、用地取得や園路、運動施設等の整備を行う。			予算事業名	沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)		R5年度			主な財源	実施方法	当初予算額	一括交付金 (ハード)	その他	690,505	令和5年度活動計画			県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を行う。		
予算事業名	公園費 (社会資本交付金)																																																																																												
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額																																																																																										
内閣府計上	直接実施	2,495,815	1,237,610																																																																																										
令和4年度活動内容																																																																																													
県営都市公園事業において、用地取得や園路、運動施設等の整備を6公園で行った。																																																																																													
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)																																																																																												
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額																																																																																										
一括交付金 (ハード)	その他	439,064	426,591																																																																																										
令和4年度活動内容																																																																																													
県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を16市町村に行った。																																																																																													
予算事業名	公園費 (社会資本交付金)																																																																																												
R5年度																																																																																													
主な財源	実施方法	当初予算額																																																																																											
内閣府計上	直接実施	2,226,530																																																																																											
令和5年度活動計画																																																																																													
県営都市公園事業において、用地取得や園路、運動施設等の整備を行う。																																																																																													
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)																																																																																												
R5年度																																																																																													
主な財源	実施方法	当初予算額																																																																																											
一括交付金 (ハード)	その他	690,505																																																																																											
令和5年度活動計画																																																																																													
県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を行う。																																																																																													
活動指標名	都市公園の供用面積 (整備面積) (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要																																																																																						
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B																																																																																								
	1,532ha	1,535ha	1,545ha	12.2ha (1,565ha)	98.8%	順調	県営都市公園及び市町村営都市公園において、環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて用地取得や園路、広場等の整備を行った。																																																																																						

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>県営都市公園及び市町村営都市公園において、環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の場所の空間創出に向けて用地取得や園路、広場等を整備したことにより、都市公園の供用面積が計画値1,565haに対し実績値1,545haとなっており、順調である。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>都市公園整備事業については、引き続き公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する。また、整備の効果が早期に発現できるよう部分的な供用開始に取り組む。</p>	<p>公園整備の効果を早期に発現させるため、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら円滑な公園整備に努め、さらに一部完成した公園については部分的な供用開始に取り組み、供用面積を増加することができた。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	公園用地の取得に長時間を要することから、地権者等の同意が早期に得られるよう、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めた効率的かつ効果的な整備に努める必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する。
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	整備の効果が早期に発現できるよう部分的な供用開始に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○コンパクトなまちづくりの促進
主な取組	住民参加型都市計画マスタープランの策定の促進		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	・コンパクトなまちづくりを図るため、都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通の沿線等に居住の誘導が図られるよう、市町村の取組を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
都市計画法に基づく市町村の都市計画マスタープランおよび地区計画策定等に向けた、地域の現状と課題に対する調査、住民意見の聴取、合意形成の活動等の取り組みを支援する。	県,市町村	都市計画区域をもつ21市町村における、住民参加型都市計画マスタープラン策定の支援		
		県・市町村調整会議数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		

活動指標名	県・市町村調整会議数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		3市町と都市計画マスタープラン改定に向けた調整した。
		1回	1回	1回	1回	100.0%	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染拡大の状況において、研修会を行うことはできなかったが、メール等の代替手法により取り組むことができた。本取り組みを進めることで、市町村のまちづくりに対する理解が深まり、住民にとってより身近でわかりやすいまちづくりに寄与する。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 現状把握や情報共有等のため市町村都市計画担当との県・市町村調整会議を1回実施する。 引き続き、県外の事例収集を実施し、良好な事例を市町村へ情報提供することで、意識向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状把握や情報共有のため、市町村都市計画担当と意見交換を適宜行った。 県内外の事例を収集し、良好な事例については、各市町村へ情報提供することで、意識の向上を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	具体的な取り組みを進める市町村と意見交換を行ったが、今後、取り組みを進めることを検討している市町村において、適切な方針や効果的な取り組み方法を計画できるよう良好な事例を共有する必要がある。



4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	マスタープラン等の策定および改定を検討する市町村と、適宜意見交換を実施する。意見交換時には、今後の都市計画関連施策の検討状況を把握する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○コンパクトなまちづくりの促進
主な取組	土地区画整理事業等		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園(街区公園)箇所数
施策の方向	・コンパクトなまちづくりを図るため、都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通の沿線等に居住の誘導が図られるよう、市町村の取組を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
都市計画区域内の土地について、土地区画整理事業を活用し、道路、公園等の公共施設の整備改善と良好な宅地の利用増進を図り、健全な市街地形成を図る。	市町村,組合等	道路、公園等の公共施設の整備改善と良好な宅地の利用増進		
		土地区画整理事業により整備された宅地面積(累計)		
		10ha	10ha(20ha)	10ha(30ha)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金				予算事業名	沖縄振興公共投資交付金		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
一括交付金 (ハード)	直接実施	1,204,151	1,158,667		主な財源	実施方法	当初予算額	
令和4年度活動内容					一括交付金 (ハード)	直接実施	1,190,657	
宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を行った。 (浦添南第一地区等 10地区)					令和5年度活動計画			
予算事業名	社会資本整備総合交付金				予算事業名	社会資本整備総合交付金		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
内閣府計上	直接実施	1,791,579	1,780,759		主な財源	実施方法	当初予算額	
令和4年度活動内容					内閣府計上	直接実施	896,661	
宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を行った。 (西普天間住宅地区等 3地区)					令和5年度活動計画			
					前年度に引き続き、宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を行う。 (浦添南第一地区等 10地区)			
					前年度に引き続き、宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を行う。 (西普天間住宅地区等 3地区)			
活動指標名	土地区画整理事業により整備された宅地面積(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	13ha	11ha	23ha	10ha	100.0%	順調	浦添南第一地区等13地区の宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を促進した。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度実績値は目標値を大幅に上回っており、宅地造成工事は順調に進んでいる。一部地権者の合意形成に時間を要していること等により、成果指標の根拠となる使用収益の開始に至っていないが造成が完了している地区もあることから、今後も順調な宅地供給が見込まれる。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業については、複数年度継続して行われるため、住民説明会など地権者合意形成を密にするよう働きかけることにより、地権者交渉を円滑に進める。 ・直接施行を考慮した工程管理の検討を進める。 ・保留地を早期に処分できるよう、工事及び補償について優先順位を定め、細かな工程管理に留意した工程表に見直すよう、今後も指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民説明会など地権者合意形成の取組強化を指導することにより、地権者交渉を円滑に進められるようになった。 ・今回、実際に直接施行を行った地区はないが、地権者に、直接施行を行う場合のリスクを説明することで、合意形成が円滑になった。 ・工程表の見直しを行うことにより、保留地の早期処分が図られるようになった。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	換地計画に基づき補償を行うことから、換地先に不満がある地権者との交渉に不測の時間を要している。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	住民ニーズの高まりにより、区画整理地区内における、無電柱化や擁壁の追加等が発生した場合、資金計画及び事業計画の見直しが必要となり、事業完了が遅れるおそれがある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	移転協議が難航している物件がある場合は、直接施行移転(除去)等の検討を行い、目標とする宅地面積の達成に向けて施行者と連携を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	土地区画整理事業については、複数年度継続して行われるため、定期的に住民説明会などを行い、事業内容や必要性等への理解を得ることにより、地権者交渉を円滑に進める。
⑦ 取組の時期・対象の改善	直接施行を考慮した工程管理の検討を進める。
⑦ 取組の時期・対象の改善	保留地を早期に処分できるよう、工事及び補償について優先順位を定め、細かな工程管理に留意した工程表に見直すよう施行者に指導を行い、問題意識の共有を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○身近な場所で充実した生活環境の創出
主な取組	街路整備事業（県管理道路）		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	・誰もが身近な場所で充実した活動ができるよう、商店街や中心市街地の活性化により賑わいを創出するとともに、土地区画整理事業、市街地再開発事業、街路整備事業、公園整備事業等により、公共施設や宅地の一体的整備、土地の高度利用化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
安全で快適なゆとりある道路空間を創出するとともに、交通渋滞を緩和し、物流・交通流の円滑化を図るために、4車線拡幅、歩道の設置、緑陰の形成、無電柱化等を行う街路事業を推進する。	県	胡屋泡瀬線、真地久茂地線外1、豊見城中央線外1線等の整備			
		整備済延長(累計)			
		整備実施	0.74km	0.02km(0.76km)	
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業費 (街路)			予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業費 (街路)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	3,606,170	1,973,187	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	直接実施	2,406,978
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
豊見城中央線 (用地補償等)、真地久茂地線外1線 (用地補償等)、胡屋泡瀬線 (街路工事、用地補償等)、城間前田線 (用地補償等) 等の整備を行った。				真地久茂地線外1線 (用地補償等)、県道24号線バイパス (用地補償等)、城間前田線 (街路工事等)、龍潭線 (街路工事等) 等の整備を行う。		

活動指標名	整備済延長 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	整備実施	整備実施		概ね順調	豊見城中央線 (用地補償等)、真地久茂地線外1線 (用地補償等)、胡屋泡瀬線 (街路工事、用地補償等)、城間前田線 (用地補償等) 等の整備を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

一部路線で整備に遅れが生じているものの、各路線の整備は概ね計画通りに進められていることから、「概ね順調」と判断した。
 なお、本取組は、安全でゆとりある道路空間の創出に寄与するものである。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
事業完了に至らない場合でも、部分的な開通等により、事業の早期効果発現を図る。	渋滞が慢性化している区間の一部を拡幅暫定形で供用し、渋滞緩和の効果発現を図ることができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	安全で快適なゆとりある道路空間の創出と、交通渋滞の緩和のため、さらに事業の早期効果発現を図る必要がある。	① 執行体制の改善	事業箇所の交通渋滞状況や周辺道路ネットワークの整備状況等を踏まえ、早期効果発現に寄与する計画的な用地取得、街路工事及び資金配分計画を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○道路空間の適正な管理
主な取組	主要道路における雑草・街路樹の適正管理		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園(街区公園)箇所数
施策の方向	・身体障害者、高齢者、子どもなど誰もが安全で快適に移動できる空間を創出するため、街路樹を含む歩道空間の適正な管理等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
主要道路において、除草や街路樹剪定等の植栽管理を実施する。	県	主要道路における除草や街路樹選定等の植栽管理の実施		
		年中、安全上支障がない草丈に維持されている路線数(内訳)		
		40路線	45路線(新規5路線、継続40路線、累計45路線)	50路線(新規5路線、継続45路線、累計50路線)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課	【 098-866-2665 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	県単道路維持費			予算事業名	県単道路維持費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
県単等	委託	1,108,857	1,114,817	主な財源	実施方法	当初予算額	
				県単等	委託	1,109,526	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
<p>主要道路の54路線において、草丈管理の要求水準を設定した道路除草管理を行い、年中安全上支障がない草丈を維持した。</p>				<p>主要道路の45路線において、草丈管理の要求水準を設定した道路除草管理を行い、年中安全上支障がない草丈の維持を行う。</p>			
活動指標名	年中、安全上支障がない草丈に維持されている路線数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	290km	290km	54路線	40路線	100.0%	順調	主要道路(54路線)において草丈管理の要求水準を設定した道路除草管理を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>主要道路のうち、安全上支障がない草丈が年中維持されている路線数は、計画40路線に対し、実績54路線であったことから、取組は「順調」と判断した。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 「沖縄県沿道景観向上技術ガイドライン」に基づいた管理を継続し、効果があった手法について、実施範囲を拡大するとともに、性能規定による植栽管理路線を拡大することにより、良好な沿道景観の維持を図る。 限られた予算で効果的・効率的な植栽管理を実施するための実効性のあるしくみづくりを行う。 道路ボランティア団体への支援・普及啓発により、住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに基づいた管理を行うとともに、アレロパシー植物や防草シート等を用いた実証実験のモニタリング調査及び過年度モニタリング調査結果も含めたフォローアップを実施した。 各土木事務所における植栽管理担当を含めたワーキング会議を実施し、ガイドラインに基づくモニタリング調査の結果を踏まえた有効な植栽管理手法等の情報を共有した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	主要道路における沿道景観の緑化事業については、沿道環境に配慮した道路空間の創出のため、年4回程度の除草作業が必要であり、効率的・効果的な植栽管理が必要である。	① 執行体制の改善	「沖縄県沿道景観向上技術ガイドライン」に基づいた管理を継続し、フォローアップ調査により効果があった手法について、現場担当と共有し、効果的な管理手法の拡大に努め、良好な沿道景観の維持を図る。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	街路樹のせん定について、道路利用者の安全性確保を優先し、交差点部など必要最小限しか行えず、適正管理の観点からは改善すべき点が多い。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	街路樹のせん定については、執行予算残などを活用し、安全性確保の観点から交差点部や危険木を優先し、街路樹のせん定を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	⑤公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進
			施策の小項目名	○公共施設等におけるバリアフリー化
主な取組	都市公園バリアフリー化支援事業		対応する成果指標	公共施設等のバリアフリー化適合率
施策の方向	・人と環境に優しいまちづくりを推進するため、公共空間等におけるユニバーサルデザインの導入に取り組む。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
高齢者、障害者等が円滑に利用できる園路、広場、駐車場等のバリアフリーに対応した都市公園の整備を行う。	県,市町村	バリアフリーに対応した都市公園の整備推進		
		都市公園のバリアフリー化率		
		36.6%	37.3%	38.0%
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課	【 098-866-2035 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	公園費 (社会資本交付金、公共投資交付金)			予算事業名	公園費 (社会資本交付金、公共投資交付金)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
内閣府計上	直接実施	2,618,977	1,393,769	主な財源	実施方法	当初予算額
令和4年度活動内容				内閣府計上	直接実施	2,513,263
<p>県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行った。</p>				令和5年度活動計画		
<p>県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行う。</p>				予算事業名	沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)	
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)			R5年度		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ハード)	その他	439,064	426,591	一括交付金 (ハード)	その他	690,505
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行った。</p>				<p>県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行う。</p>		

活動指標名	都市公園のバリアフリー化率		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	34.6%	34.7%	40.0%	36.6%	100.0%	順調	<p>県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行った。また、県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行った。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度の取組により、都市公園のバリアフリー化率は40.0%となり、目標値の36.6%を上回ったことから、取組の進捗は「順調」と判断した。なお、高齢者、障害者等が円滑に利用できるようバリアフリーに対応した園路、広場、駐車場等を整備をしたことにより、利用者の利便性向上が図られている。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>都市公園のバリアフリー化については、引き続きバリアフリー化施設の優先度を勘案して、利用者の多い公園や利用頻度の高い施設を選定する等、効率的かつ効果的に整備を推進する。</p> <p>都市公園のバリアフリー化については、老朽化した施設の改築、更新も含めて勘案しながら進めていく。</p> <p>施工方法や施工時期について、早期に地元自治会等との合意形成を図り、協力を得ながら事業を推進する。</p>	<p>バリアフリー化への対応については、地元等の関係者と協力しながら、バリアフリー化対応施設の優先度を勘案し、整備を推進した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	バリアフリーに対応する公園施設の整備のほか、老朽化した公園施設の改築、更新も行っているため、引き続き効率的かつ効果的な整備計画の策定が必要である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	施工方法や施工時期について、引き続き早期に地元等の関係者と調整を行い、合意形成を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	バリアフリー化施設の優先度を勘案して、利用者の多い公園や利用頻度の高い施設を選定するほか、老朽化した施設の改築、更新も含めて勘案しながら、引き続き効率的かつ効果的に整備を推進する。
② 連携の強化・改善	施工方法や施工時期について、引き続き早期に地元等の関係者との合意形成を図り、協力を得ながら事業を推進する。